

# 慢性心不全看護認定看護師

## 慢性心不全看護認定看護師って何が行えるナース？

心不全は「心臓が悪いために、息切れやむくみがおこり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」といわれています。

心不全を抱える患者さまに対して、心不全増悪の回避や予防のためのケアを行うというのが、おもな役割となります。どういった時に心不全を起こしやすいのかをモニタリングによって把握し、心不全の回避や予防のために、生活習慣の改善や、服薬や食事管理、感染予防といった自己管理能力を高める方法を患者さまと一緒に考えていきます。

制限を強いるのではなく患者さまがなるべく生活を楽しむことができるように、セルフケア能力を高めるための支援を行います。

心不全患者さまが病状の悪化を繰り返すことなく、家族とご自宅で安心して生活ができるように、また QOL の維持向上ができるように、多職種と連携して生活調整などを支援していきます。

## 現在の活動

- 患者さまに心不全について、内服薬、水分制限、塩分制限、感染予防などの自己管理についての指導や相談、生活調整を行っています。
- 心臓リハビリテーションチーム（医師や栄養士、理学療法士・作業療法士、ソーシャルワーカーなど）多職種でカンファレンスを行い、患者さまの療養生活を調整・支援できるよう話し合いを行っています。



慢性心不全看護認定看護師  
2015年 取得  
岡本佳奈

